

TP TSUJINAKA HOSPITAL

Clover

辻仲病院柏の葉・広報誌
2025.9月号 vol.47

特集 ~婦人科~
女性の安心・安全を守るために



女性の安心・安全を守るために

すべての世代の女性を対象に婦人科全般の診療を行っております。とくに、子宮内膜症、子宮筋腫、卵巣嚢腫、月経困難症、慢性骨盤痛の診療と良性疾患を対象とした腹腔鏡手術に力を入れております。腹腔鏡下手術は、「日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医」が行います。悪性腫瘍に関しては、診断がついた時点で他の医療施設にご紹介し、最善策を講じます。また骨盤臓器脱（子宮脱）に関しては、当院の外科医師、泌尿器科医師らと協力して診療にあたっております。

中でも生理痛関連でお悩みの患者さんの割合が多く、遠方から当院を頼ってきていただく方も多くいらっしゃいます。「鎮痛剤を服薬しても生理痛が緩和されない」「生理になると鎮痛剤を常用している」「生理痛で生活が少し困難になる」など、少しでも不安や困りごとがあれば、「私は大丈夫」と一人で悩まず、一步を踏み出して相談に来

ていただければと思います。女性医師をご希望する患者さんにも対応できます。

不妊症については一通りの診断と、子宮卵管造影、排卵誘発等を行っています。子宮内膜症による不妊症に対しては、腹腔鏡下手術により、卵巣卵管の癒着を剥離し、卵管通水により卵管の通過性を改善し、妊娠しやすい状況に整えることを行っています。

当院周辺にも婦人科のクリニックが増えました。クリニックでは対応できない手術などを当院で行うような連携を強固にしていきます。今後も女性の身体に寄り添い、安全・安心を守っていきたいと考えております。



西澤 知佳 医長

主な診療対象

- 子宮内膜症 ■ 子宮筋腫
- チョコレートのう胞
- 卵巣のう腫 ■ 子宮腺筋症
- 慢性骨盤痛 ■ 月経困難症
- 月経異常 ■ 更年期障害
- 不妊症 ■ 不正出血
- 女性の性病
- PMS(月経前症候群)
- 子宮がん検診・精密検査

これらの病気に不安な方、ご相談ください。

こんな症状があれば受診を

◆月経に関する異常

生理不順・生理痛がひどい・鎮痛剤が効かない・排卵痛が強い・経血量が多い・血の塊が出る・貧血を指摘された・生理前の心身不調

◆下腹部痛や腰痛

生理中以外でも生理痛のような下腹部痛や腰痛がある

◆排便痛

肛門の奥が痛む、排便時に痛みがある

◆性交痛

性交時や性交後に膣の奥が痛い

その他、不正出血、おりものの異常、更年期障害、妊娠・避妊に関することなどでもご相談ください。

診療実績 婦人科の手術件数

診療内容	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
腹腔鏡下手術（患者数）	129	179	159	143	182
内訳（重複含む）	子宮内膜症病巣除去術（RUSPFOEL）	81	130	143	102
	子宮筋腫核出術	28	27	27	26
	子宮腔上部切断術	123	79	125	100
	子宮全摘術	12	21	14	7
	附属器腫瘍手術	62	99	88	71
	卵管端々吻合（LMTR）	2	2	0	2
	その他	1	1	0	0
					4



新たな内視鏡手術で患者さんの負担軽減へ

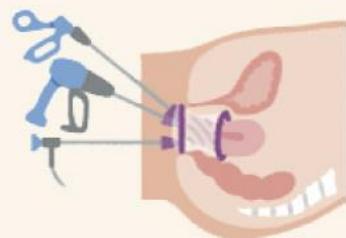
当院では、良性婦人科疾患に対する腹腔鏡手術に力を入れています。身体への負担が少ない手術で、女性の生活の質向上を目指します。

さらに、今夏より vNOTES（ヴィノーツ）「経腔的腹腔鏡手術」を行えるようになりました。

vNOTES は、腔から腹腔鏡や器具を挿入して行う腹腔鏡手術です。お腹に傷をつけない手術になるので、患者さんの身体の負担も少なく、術後の痛みの軽減・早期の社会復帰が可能になります。この術式は医療の世界でも注目され始め、今後は拡大していくと思われます。

患者さんの身体と精神面に負担をかけないよう、十分に考慮した診療方針を立てています。他院ではあまり行われていない卵管結紮手術後の卵管再建手術も腹腔鏡手術で行っていることもあり、全国から患者さんが来院されます。

当院は、常に最先端医療に取り組み、日々、研鑽を重ねてあります。



婦人科は初診・再診ともに予約制です

ご予約は電話予約センター

☎04-7137-6283

受付時間 / 13:00 ~ 16:00 (日曜・祝日、年末年始は除く)

受診時間 / 月曜日～土曜日 AM・PM 共に (祝日、年末年始は除く)

医療機関からのご予約・ご紹介は

☎04-7137-3003

受付時間 / 9:00 ~ 16:30 (日曜・祝日、年末年始は除く)

婦人科は原則予約制ですが、当院の婦人科に受診されている方で、緊急を要する症状がある場合は、代表 (04-7137-3737) までお問い合わせください。



食から治療を支える

栄養科

当院の給食は「腸内環境を整える」ため、様々な工夫をこらしています。大腸・肛門外科という専門科があり、骨盤内臓器を診る病院なので、給食はビフィズス菌や酪酸菌、食物繊維が豊富に含まれるように、仕上げています。栄養管理や栄養指導も、治療に貢献する分野として、専門性をもつて取り組んでいます。



給食管理

地産地消を目標に、国産米、牛肉以外は国産肉を使用することにこだわっています。病院直営の給食（その場で調理する事）のため、昨今の気候変動や価格変更に知恵を絞り小さな努力を重ねることで対応しています。

真心を込めて提供する給食は、おかげさまで、嗜好調査でも高評価をいただいております。

給食は栄養価を満たすだけではなく、安全な大量調理が基本であり、旬の食材や季節ごとの行事食を行い、香りや盛り付けに工夫しています。これからも入院中の楽しみや安心につながるよう、毎食の給食を心をこめて大切に作り続けたいと考えています。

栄養管理

管理栄養士は入院時から患者さんの栄養状態を把握し、医師や看護師などの他職種と連携しています。個別の食事内容提案は入院時初日から

行われます。例えば、術後には最適な栄養補助食品を組み合わせて高タンパクな食事、緩和ケアには一食ごとの細かな調整等が提案されます。

栄養指導は、入院中だけではなく退院後の生活を見据えた指導、相談を行います。消化器術後や化学療法、炎症性腸疾患は食欲不振、体重減少、倦怠感などの症状が出現するものが多く、様々な栄養不足もみられます。手術、薬物療法の各種治療にネガティブな気持ちを抱き、食事療法に不安やストレスを感じる患者さんがとても多いようです。管理栄養士は患者さんが食事療法に前向きに取り組めるようなサポートと正しい説明を求められていると感じています。関わる全ての患者さんに親身な声かけ、各専門分野の最新情報の提供を目標に日々精進して参ります。



市民公開講座情報

いずれのセミナーも

先着100名様 予約不要



会場／柏の葉カンファレンスセンター

10/4㈯

第10回 緩和ケア

講師 餅原 弘樹 先生

15:00～16:30

(14:30より受付開始)

在宅医療の現場から伝える
これからの“くすり”との
付き合い方



10/11㈰

第1回 漢方講演会

講師 喜多 敏明 先生

13:00～14:00

(12:30より受付開始)

原因不明の体調不良は漢方薬に
おまかせ 「未病を治して健康寿命を
延伸する秘訣」

地域連携室 ☎04-7137-3003

10/11㈰

内視鏡セミナー

問い合わせ ☎04-7137-6270

15:30～17:00

(15:00より受付開始)

講師 平澤 俊明 先生

胃がん・食道がんから良性疾患まで

講師 松尾 恵五 先生

大腸がん検診と肛門診察のススメ

地域連携室 ☎04-7137-3003

病院理念
病院基本方針
「5SCIのモットー」

国際水準の専門的医療技術と地域社会から信頼される医療サービスの提供に努めます。

Safety 医療の安全・人権の保護 Smile 優しく微笑む Sincerity 真心を込めて Speed すばやく対応 Satisfaction お役にたって喜ばれる Cleanliness 清潔に、快適に Internationality 国際水準の医療を提供

医療法人社団康喜会 **辻仲病院柏の葉** ☎04-7137-3737

〒277-0871 千葉県柏市若柴178-2 柏の葉キャンパス148街区6

辻仲病院柏の葉

検索